



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 三共興株式会社

コード番号 8018

URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長000 (氏名) 井ノ上 明

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 下川 浩一 (TEL) (06)6268-5188

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,429	△31.8	121	△11.2	450	15.6	611	143.7
2020年3月期第1四半期	5,027	△13.1	136	△55.5	389	△32.0	250	△40.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 637百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △237百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	13.99	—
2020年3月期第1四半期	5.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	46,611	34,599	73.4
2020年3月期	48,010	34,839	71.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 34,214百万円 2020年3月期 34,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点において業績予想が困難であることから引き続き未定といたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染が拡大し、収束の見通しが不透明であるため、現時点において合理的に算定することが困難なことから引き続き未定としております。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	60,000,000株	2020年3月期	60,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	16,294,798株	2020年3月期	16,294,798株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	43,705,202株	2020年3月期1Q	43,983,902株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響を受け、経済活動が大きく停滞したことにより、景気が急速に悪化し、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましても、商業施設・直営店舗の臨時休業や営業時間短縮、外出自粛要請による消費低迷などにより、極めて厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中で、当社グループは、主力ブランドである「DAKS」を核として、アジアを中心にグローバルに展開することに注力し、また、今後の先行き不透明な状況に対応するために、強固な財務基盤や安定した収益体質の構築を目指す事業構造改革に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比31.8%減の3,429百万円となりましたが、営業利益は前年同期比11.2%減の121百万円、経常利益は前年同期比15.6%増の450百万円となりました。特別損失として緊急事態宣言の発令による臨時休業等による損失などを計上し、特別利益として投資有価証券売却益を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比143.7%増の611百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

国内事業は、「DAKS」「LEONARD」のブランド価値向上のため、顧客ファースト、商品クオリティを追求し、経営効率を重視する販売戦略を推し進めております。当第1四半期連結累計期間におきましては、当該ブランドを百貨店などに販売する国内子会社では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う2020年3月以降の外出自粛要請や4月の緊急事態宣言の発令による百貨店などの休業の影響を大きく受け、大幅な減収となりました。

一方、「DAKS」「LEONARD」ブランドを中国・香港・マカオ・台北・韓国などのアジアを中心に展開しております海外事業は、当該感染症の影響は限定的でしたが、地政学的リスクなどの要因により前期末に香港における店舗を一部撤退したこともあり、減収となりました。

ファッション関連事業全体といたしましては、大幅に減収となりましたが、前期末より当連結会計年度における当該感染症の拡大に伴う消費低迷に対応するために、利益重視の収益体質の構築を目指し、固定経費の削減などをすすめていた効果が大きく、増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比45.8%減の1,335百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比254.0%増の133百万円となりました。

② 繊維関連事業

アパレル企業向けのOEM事業は、依然として厳しい市況が続く受注競争が加速する中、販売面におきましては企画提案力の強化、付加価値の高い商品開発に注力し、また、生産面におきましては、更なる品質向上を目指し、商品の安定供給に努めることで、重点得意先との取組拡大を目指しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、取引先であるアパレル各社の仕入計画の見直しによる受注減などが大きく影響し、物流などの効率化、経費の削減などの収益性の向上に努めましたが、減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比21.5%減の1,648百万円、セグメント損失(営業損失)は55百万円(前年同期は28百万円のセグメント損失)となりました。

③ 不動産関連事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸などの不動産賃貸事業は、稼働率は安定的に推移しておりますが、イベントホール事業が、新型コロナウイルス感染症の拡大により、一定の期間、営業自粛を行ったことが大きく影響し、減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比15.4%減の527百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比14.7%減の147百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて782百万円(3.9%)減少し、19,302百万円となりました。これは、現金及び預金が517百万円減少、受取手形及び売掛金が371百万円減少したことなどによるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて615百万円(2.2%)減少し、27,309百万円となりました。これは、投資有価証券が287百万円減少、使用権資産が129百万円減少したことなどによるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,025百万円(13.1%)減少し、6,799百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が768百万円減少、未払費用が232百万円減少したことなどによるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて132百万円(2.5%)減少し、5,212百万円となりました。これは、リース債務が139百万円減少したことなどによるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて240百万円(0.7%)減少し、34,599百万円となりました。これは、利益剰余金が262百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において合理的に算定することが困難なことから、引き続き「未定」とさせていただきます。

なお、今後、合理的な業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,395	13,878
受取手形及び売掛金	3,606	3,235
商品及び製品	2,019	2,108
仕掛品	2	—
原材料及び貯蔵品	5	6
未収還付法人税等	36	39
その他	204	223
貸倒引当金	△184	△189
流動資産合計	20,085	19,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,541	7,450
土地	3,065	3,065
使用権資産(純額)	1,946	1,816
その他(純額)	150	136
有形固定資産合計	12,703	12,469
無形固定資産		
商標権	3,869	3,846
その他	135	118
無形固定資産合計	4,004	3,964
投資その他の資産		
投資有価証券	10,654	10,366
退職給付に係る資産	8	8
その他	573	539
貸倒引当金	△19	△39
投資その他の資産合計	11,217	10,875
固定資産合計	27,924	27,309
資産合計	48,010	46,611

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,376	1,607
短期借入金	2,820	2,820
リース債務	521	514
未払金	673	574
未払費用	881	648
未払法人税等	163	221
その他	388	412
流動負債合計	7,825	6,799
固定負債		
リース債務	1,578	1,438
繰延税金負債	2,284	2,309
退職給付に係る負債	505	493
長期預り金	840	840
その他	134	130
固定負債合計	5,344	5,212
負債合計	13,170	12,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,168	6,168
利益剰余金	29,354	29,091
自己株式	△5,984	△5,984
株主資本合計	32,538	32,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,460	4,520
繰延ヘッジ損益	7	5
為替換算調整勘定	△2,553	△2,583
退職給付に係る調整累計額	△5	△3
その他の包括利益累計額合計	1,908	1,938
非支配株主持分	392	385
純資産合計	34,839	34,599
負債純資産合計	48,010	46,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	5,027	3,429
売上原価	2,990	2,102
売上総利益	2,036	1,326
販売費及び一般管理費	1,900	1,205
営業利益	136	121
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	253	263
為替差益	3	12
その他	19	72
営業外収益合計	278	348
営業外費用		
支払利息	17	14
店舗等除却損	1	—
その他	5	4
営業外費用合計	25	19
経常利益	389	450
特別利益		
投資有価証券売却益	—	633
助成金収入	—	30
特別利益合計	—	664
特別損失		
臨時休業等による損失	—	※ 200
投資有価証券売却損	—	28
減損損失	—	7
特別損失合計	—	236
税金等調整前四半期純利益	389	878
法人税、住民税及び事業税	102	280
法人税等調整額	32	△10
法人税等合計	134	269
四半期純利益	254	608
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	250	611

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	254	608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123	59
繰延ヘッジ損益	△20	△1
為替換算調整勘定	△349	△29
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	△492	29
四半期包括利益	△237	637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△241	640
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※臨時休業等による損失

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急事態宣言に伴う店舗等の休業期間中に発生した固定費(人件費・減価償却費等)を「臨時休業等による損失」として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,456	2,012	558	5,027	—	5,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	88	65	160	△160	—
計	2,462	2,101	623	5,187	△160	5,027
セグメント利益又は損失(△)	37	△28	173	182	△45	136

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△45百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△101百万円及びセグメント間取引消去等55百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,335	1,611	483	3,429	—	3,429
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	37	44	82	△82	—
計	1,335	1,648	527	3,511	△82	3,429
セグメント利益又は損失(△)	133	△55	147	225	△104	121

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△104百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△145百万円及びセグメント間取引消去等41百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業		
減損損失	7	—	—	—	7